

練稲Press

No.003

成功させよう!! 「第10回ニューイヤーコンサート」



2016年2月11日(木・祝日)、17:00から練馬文化センターにおいて、早稲田大学交響楽団による第10回のコンサートが行われる。早いもので10回目の節目を迎えることとなった。今回から練馬区が共催となる。「継続は力なり……」、当初はチケット販売などいろいろな苦勞もあったが、いまや当会が総力をあげるシンボリックな催事として定着し、心待ちにしているファンもいるほどだ。

今回は、指揮に曾我大介氏をむかえ、ワーグナーの歌劇「タンホイザー」「ローエングリン」、ドヴォルザークの交響曲「新世界より」の名曲がラインナップされている。最後に全員で歌う「都の西北」は、なかなか感動的である。恒例により収益金の一部は「練馬みどりの葉っぱい基金」に寄付される。

11月初旬、練馬在住のOB・OGの約8000名の皆さんに案内状を送付している。第10回を全員の力で盛り上げを図っていききたいものだ。



(写真：岡田 吉郎)

「第1回新年会」開催!!

2016年1月16日(土)、初の新年会を開催する。
17:00～豊島園の「カリーノ」にて。飲み放題で5000円と格安。懐かしいフォークソングを歌う早大出身者を中心としたDREAMERSのライブ演奏のビュッフェパーティー。ご家族ともども多くの参加をお願いしたい。

パソコン教室 毎週木曜日、練馬稲門会事務所にて開催しています

パソコン教室は毎週木曜日、午後に練馬稲門会事務所の会議室で開催しています。初心者でも気軽に相談と指導を受けられるよう、親切かつ丁寧に対応することを心がけています。パソコンについてなにかわからないことや教えてもらいたいことがある方は、ご遠慮なくおいでください。

基礎コースは12:00から13:15、常連者コースは13:30から15:00を目安にしていますが、受講者の都合にあわせて臨機応変にやることとしております。講師陣は平田慎一郎（主に基礎コース）、岡田吉郎・山田興太郎・築山哲（主に常連者コース）です。毎回6～8名の方々を対象に講習を行っています。講習内容はWordやExcelの基礎および各種ソフトの使い方を中心に行っていますが、予め決まったテキストやカリキュラムを定めているわけではありません。最近の例では、

- ①基礎コースではExcelの基礎
- ②常連者コースではWindows10の使い方



を勉強しました。なお、受講料として1回あたり500円をいただいています。皆さんに気兼ねなくおいでいただけるようにとの気持ちからです。

参加希望の方は木曜日午後、練馬稲門会事務所3階にお越し下さい。連絡先は電話：03-3994-8212、または築山携帯：090-1817-4737、詳細はホームページ s-tsukiyama.jimdo.com をご覧下さい。（築山 哲）

釣り愛好会 年(春・秋)2回の釣行、次回は三浦半島を予定しています

今年は初夏から天候に恵まれず、今(11月)になっても釣行が出来ずにいます！ 昨年までは2回/年(春・秋)は釣行していたのに残念です。今までの釣り物をあげると、イサキ・キス・ホウボウ・メゴチ・メバル・カサゴ等々であり、参加者にボウズ(釣果0匹)はいませんでした。費用は1万円以下(交通費は含まない)でタックル(竿・リール・仕掛け等のレンタル代)及び氷・餌は含まれています。

参加者の不満は、朝が早過ぎる事の様です！ 千葉辺りでのゴルフと同じ時間だと思のですが……。11月に入ってやっと台風が収まって来たので、そろそろ次回の計画を立てたいと思っている今日この頃です。

行く先は三浦半島あたりです。近い事と、釣り物が多種である事です。堤防釣りや岩場は危険なので止めています。もっぱら船釣りです。

幹事として困っている事があります。それは皆さんの予定が上手くとれない事です！ 土日は船代が高いので、どうしてもウイークデイにならざるを得ない。すると若い方は参加出来ない。結局、老人クラブとなって仕舞う？ 老人だけでも中々実行日が決まらない。この辺、他の部



今春の釣果「カサゴ」

ではどの様になさっているのか、どなたかお教え頂きたいと思っております。

これからはキス・ハゼ・イシモチ・カサゴ等が最盛期になります。海の収まりに合わせて、楽しい釣行を実施したいと考えています。現在、釣り愛好会は13名ですが、実際に活動する会員は半数です。

釣りの好きな方、是非入会して下さい。会を盛り立ててくれる人、大歓迎です!! (岡田 吉郎)

イニシャルは「R.K.」

古藤 黎子



1962年、私の早稲田の大学生生活は始まったのだが、4年間のうち、二つの大きな出来事と、生涯の友人を得た話をしようと思う。

大きな出来事の一つ目は、競技会場になったため授業が休みになった東京オリンピックである。

国立競技場の聖火台への階段を上る最終ランナー（早稲田の学生だったと思う）の姿と、聖火台へ点灯する瞬間、真っ赤な炎と沢山のハトが青空に飛び立った瞬間を、まるで昨日のことのように思い出すのである。

二つ目は、卒業後24年後の卒業式。卒業式が行われるはずの昭和41年は学生会館の管理運営や学費値上げをめぐる学園紛争が起き、早大史上唯一卒業式がなかった年である。

1990年10月、ホームカミングデーに卒業式があり、初め

て総長たちの角帽、黒ガウン姿を拝見した。

その日、記念会堂には卒業生8449名のうち2000人以上が出席したという。

NHKの記者をしていたクラブの友人が情報を新聞各社に流してくれたお蔭で、会場の一番前に座る私たちの姿が新聞に掲載され、その記事を私は今も大切に持っている。

学校では、早々に英語会にクラスの友人と入部した。それが、学籍番号19番の窪籠子氏、イニシャルは「R.K.」。私は2番違いの21番、同じ「R.K.」である。二人揃って、講義が終わるとすぐ英語会の部室に通い続けている、いつも二人は一緒、と見られていた。

今思うと、彼女と英語会での「いつも一緒」は多分1年生の夏前までで、その後の彼女とはクラスの中で特にいつも一緒だったわけではない。私は4年間E.S.S.、彼女は自動車部にその後入部していた。

卒業後、彼女は大学院に入り直し、その後大学教授になった。この間、なぜか二人の糸は細く

長く続いていた。

私が会社を退職直前、母校の同窓会に顔を出したのは、彼女が「あなた、実践でしょ。私をサポートしてよ」という一言だった。

その後、彼女は、私が卒業した中高の大学教授として赴任、再び友人関係が復活した。二人とも気楽な独り身生活ゆ

なんとなく早稲田、やっぱり早稲田

横山 明美



これという確たる意思もなく早稲田の学生になった不埒ものである。「内気で男子とろくに口もきけないようでは将来が思いやられる」と家族皆が心配して姉の手引きで同じ文学部を受験することになり、どうせならと専攻まで同じ心理学にしてしまった。

その後弟も政経へ、姉の息子二人も早稲田に入学した。それから幾星霜、たった一人の孫も高等学院から早稲田へ進み法学部二年である。それにしても一

え、旅行をしたり、食事をした、いざとなるとお互いに誘い合って行動を共にする。

私は、この大学生活で、良き友人であり、かけがえのない友を得ることができたと思っっている。たったの4年間だったが、早稲田で過ごしたという心の共通点が二人の基盤になっているのかもしれない。

同ことごとくライブ視されるK大を受ける気がなかったのはなぜだろう……とずっと不思議だった。

心理学専攻という当時よく「人の心がよくわかるんでしょ」などと冷やかかし気味に言われたものだが、とんでもない。歳を重ねたそれだけで、今はかつての自分よりずっと人の心も自分の在りようもわかるような気がするのである。私の場合「学問より経験」というのが信条になった。体育でとった山登りは楽しかったが槍や穂高の素晴らしさもさることながら、指導、世話にあたってくれた山岳部の人たちがなんとも男らしく頼もしく、これが早稲田生の真髄なのだろうと思、「母校」の二文字が心に刻まれるきっかけに

なった。小さいころからなぜか『十五年漂流記』や『クオレ』など少年物が好きだった私である。内気なくせに憧れはあつたとみえる。

その後、出版社に就職したのだが同期にいたのが応援部で大活躍したKだった。残念なことに数年前彼は会場からあふれるほどの校友とブラスバンドの応援歌に見送られてあの世へ旅立ってしまったが、昨年久しぶりに早慶戦を見に行くと、応援席の合間に何本か「花は桜木男は早稲田」の白い幟旗がはためいており、彼の名も染め抜かれていた。「いつでも見においてよ」と言ってくれた彼と、神宮でこんな出会いをするとは思っていなかった。母校への熱い思いが胸に萌すことしきりであった。

今年、いまさらとは思えないが私は練馬稲門会に入会することにした。これまでなんとなく描いてきていた早稲田像がここで実を結ぶような気がしたからである。人生のさまざまな局面を経てきた早稲田マン・早稲田レディの層の厚いことそのまま人生劇場である。

私は今やつと各学部の「学生」に立ち混じって早稲田ライフを楽しもうとしているのかもしれない。

私の早稲田時代

小林 大輔



小学校を卒業する時、私の大好きだった女の先生がこう言いました。

「小林君、あなたは将来アナウンサーになりなさい。あなたなら、きっとなれるわよ……」

先生は何を根拠に私にそうおっしゃったのか分かりません。しかし私は、その大好きな先生の言葉を愚直に信じて、その後その勉強をずっと続けたのです。

早稲田大学に入学したのもその一環です。当時、マスコミは早稲田出身の人が一番多かったのです。入学と同時に、放送研究会のアナウンス部に入りました。ここでは三年生が、私たち新入生を教えてくださいののです。

三年には、私の先輩としてフジテレビのアナウンサーで活躍した露木茂さんがいました。

露木さん始め先輩たちは、私たち新入生を厳しく鍛えてくれたのです。とくに貴重だったのは発声、発音、滑舌の基礎訓練です。この練習は決して面白いものではありませんでしたが、一日も休みなく続けたトレーニングは結果的に、私には一生役立つものとなりました。その他、アナウンサーに求められるあらゆる事のほか、ステージの司会は大隈講堂で、野球の実況放送は神宮球場で……。

およそアナウンサーに要求される要素は大学時代にすでに経験し、しかもその後マスコミの即戦力として、かなり熟達していたのです。

さて、人は誰しも人生の途上、その岐路に直面するころはあるものです。私はその時、必ずこう思うことになっています。

「オレは青春時代を早稲田で学んだ人間だ。こんな所でムザムザくたばってなるものか……」

学生時代の一断章

穂山 幹夫



高校時代を吹奏楽部で過ごした私は、大学ではジャズの理論やその演奏を学んでみたいと考えていた。

早稲田には当時ジャズ系のサークルとして、フルバンドで主にスウィングジャズを演奏するハイソサイティ・オーケストラ、デキシールランドジャズを専門とするニューオーリンズ・ジャズクラブ、モダンジャズに特化したモダンジャズ研究会などがあった。

高校の先輩達も多く所属していたハイソサイティ・オーケストラとニューオーリンズ・ジャズクラブに、早速様子伺

そう思っ自分奮い立させて、また立ち上がるのです。だって、早稲田は心の故郷と言うじゃないですか。

いに顔を出し、練習に参加をしてみた。しかし、部員たちの演奏を目の当たりにして、

高校時代は余り感ずることのなかった私のリズム感の悪さと演奏技術の低さに唖然とさせられた。リズム感の悪さはジャズの命であるスウィング感の欠如となり、ジャズ演奏上の致命傷となる。

そんな次第で、数カ月そこでジャズの演奏という夢を諦め、入部も止めてしまった。

それではということ、鑑賞をする側に回った。

そんな折、西門通り入口の前野書店近くのモダンジャズのレコードを専門に聴かせる喫茶店「もず」を見つけ、以後大学院時代をも含めて、10年近くの間その店に入りびたりとなつてしまった。

学生時代のタモリや、後に

日本のジャズ界で活躍するギタリストの増尾好秋、ベーシストの鈴木良雄なども、この店の常連であった。

私が早稲田へ入学した1961年当時は、1930年代に隆盛を極めたスウィングジャズの時代を経て、モダンジャズ全盛の時代であった。

都内にはそんなモダンジャズのレコードを専門に聴かせる「ジャズ喫茶」なる店が多数軒を連ね、自慢のオーディオ設備、レコードの蒐集数やお宝のレコードを売り物にして店の個性を競い合っていた。新宿のデイグ、木馬、ポニー、渋谷のオスカ、池袋のパンセ等には実によく通った。

同時に、多くのライブにも出かけた。マイルス・デイビス、ホレス・シルバー、ジャズ・メツセンジャズ、オスカー・ピーターソン、MJQ等の演奏会での感動は学生時代の懐かしい思い出である。

今ではこれらの店も殆どなくなり、モダンジャズも私の早稲田時代の思い出同様に過去の音楽となつてしまったようだ。

陶芸を楽しむ会

1・8月以外の第一月曜日に手作りの陶器を製作

会を始めてからこの11月で、お蔭様で満2年になりました。諸々の制約の中、皆さんにストレスを感じないで何よりも楽しんでもらうために工夫をしました。陶芸は粘土などの材料の用意、成形、乾燥（約1週間）、素焼き（800℃、8時間焼成）、釉薬掛け、本焼（1250℃、12～16時間）で出来あがります。会員には、作品のアイデアと成形をしてもらい、後の作業は私が自宅でして翌月お返ししています。

皆さん、ご自宅に型作りでない手作りの日用の器をお持ちですか。焼き物は壊さなければ半永久的に残ります。まして自分の手作りは良い記念になりますし、指先を使うので健康にも良いですよ。

メンバーは今、男性5人女性4人の9名です。1・8月以外の第一月曜に集まります。作品例は稲門会のホームページに載っていますのでご覧ください。カエル、蚊取り線香たて、花器、盛皿など多彩です。3カ月おきに



近くのレストランでお茶会をしています。製作中は何もかも忘れて皆さん熱中しています。手ロクロなど用具は10人分ありますので、あと2名はすぐに始めることが出来ます。興味のある方はぜひご連絡ください。

(田原 亞彦)

2015稲門祭

10月18日(日)の稲門祭は雲一つない秋晴れのもとに行われた。当会は大隈庭園内のいつもの場所にテントを設営、餅や酵母パンの販売を行った。恒例の餅つきイベントも行い、子供さんも含め多くの方々が餅つきにチャレンジした。

テントの脇の芝生には述べ30名ほどが車座になりほろ酔いで盛り上がり、途中で鎌田総長も飛び入りで立ち寄るなど、行く秋を楽しんだ。

(松本 誠)



早稲田祭——総長と会長と練稲の皆さん

サークル活動でより楽しい練稲ライフを!!

2015年12月現在、21のサークルがそれぞれ活発な活動を行っています。
お好きなサークルを探して、交友の輪をさらに広げてください。

●各サークル連絡表

2015年12月現在 (事務局：作成)

	サークル	部長	卒年	連絡先(Tel)	開催予定日
1	ゴルフ部会	戸津川 隆	S39	3921-0834	毎月(日は未定、7、8、12、1、2月休会)、早慶戦(年1回)5月
2	歴史ウォーキング部会	八巻 孝夫	S45	3997-5703	七福神巡り他、年6回程度(3月~5月、9月~11月)、夏冬休み
3	旅行部会	藤沢 礎	S49	3867-2210	年間3回程度
4	マージャン部会	喜々津和夫	S43	3991-7085	奇数月の最終土曜日、年2回早慶戦、年2回近隣大会、年1回熱海泊
5	囲碁部会	築山 哲	S41	6760-9579	毎月第3土曜日、年1回湯河原泊、春・秋豊島対抗戦
6	グルメ会	持ち回り		事務局 3994-8212	年2回程度
7	テニス部会(硬式)	菊田 勉	S44	3310-3900	毎月1回(日は未定)、夏合宿(軽井沢泊)
8	エッセイ同好会	照山 忠利	S45	5387-5176	偶数月(第3土曜日)
9	ワセダスポーツを楽しむ会	小島 忠夫	S41	3929-9383	箱根駅伝・野球早慶戦・早明ラグビー・早慶レガッタ
10	カラオケ部会	土屋 正孝	S45	3929-9227	毎月(第3月曜日)PM4:00~7:00
11	山歩き会	関口 嗣男	S39	3922-6859	毎月1回・第1木曜日定例会
12	写真クラブ	岡田 吉郎	S35	0424-52-9381	毎月第3水曜日
13	パソコン教室	築山 哲	S41	6760-9579	毎週木曜日(PM0:00~3:00)
14	ティータイムコンサート	土田 寿久	S42	3995-1227	3ヵ月に1回程度(歌・落語・等)
15	酒案会	森 正治	S46	090-4361-6656	月末の最後の木曜日(年5回)PM5:00~7:00
16	釣り愛好会	岡田 吉郎	S35	0424-52-9381	年4回程度(目安)
17	青年部会	小野 惣一	S60	6914-7681	年3~4回開催予定
18	サークル懇話会	中島 晴喜	S33	3929-2035	年4回程度
19	料理を楽しむ会	仲山 典美	S40	3994-8665	2ヵ月に1回
20	ダンス愛好会	野田 明	S37	3559-0075	毎月2回
21	陶芸を楽しむ会	田原 亞彦	S38	3929-7063	毎月第1月曜日

ぜひご覧ください!! ホームページ

開設10年になるHP。ここには当会の最新の活動がすべて集約されています。
「練稲 PRESS」と併せてご覧ください。

<http://nerima.waseda-info.com/>

◎お詫びと訂正：2015年7月発行の「練稲門会小史」5ページ記載の林武とあるのは、林毅の誤りでした。大変失礼しました。

編集・発行：広報・ICTチーム

鈴木 奎三郎 山田 興太郎 照山 忠利 岡田 吉郎 築山 哲 小澤 由喜雄 塩出 重弘 石村 毅

発行所：〒176-0014 練馬区豊玉南3-6-2 第2春日ビル2F 練稲門会事務局 TEL.03(3994)8212 FAX.03(3994)8219